

なかよく 楽しく 安全に

遊具で遊ぼう

都市計画課 ☎66♦1141

子どもの成長と遊び

子どもは、遊びを通して自らの限界に挑戦することで、身体的、精神的、社会的に成長します。

また、集団で遊ぶ中で自分の役割を確認し、自らの創造性や主体性を向上させていきます。

そして、遊具は子どもたちに多様な遊びの機会を提供し、子どもの遊びを促進させるものです。

遊具の危険性と事故

しかし、子どもは、さまざまな遊び方を思いつき、時には遊具を本来の目的とは異なる遊びに用いることもあります。平成20年には全国で、次のような事故が起きています。

- ・うんていの上に乗って遊んでいた小学1年生の女子児童が降りようとした際、かぶっていた自転車用ヘルメットが棒と棒の間に引っかかり、あごひもが首にかかったまま宙吊りになり意識不明の重体になった。
- ・小学2年生の女子児童が友人とブランコの2人乗りをしていたところ転落し、前方から戻ってきたブランコの座席が頭に当たって意識不明の重体になった。
- ・3歳の女兒が滑り台から降りる際、衣服の一部が手すりに引っかかり、首が絞まって意識不明の重体になった。

安全な遊び方を

遊具の事故は、ちょっとした不注意が原因となっています。保護者の方々には、重大な事故につながる危険性についてご理解いただくとともに、安全な遊び方を子どもたちに教えてください。そして、幼児が遊具で遊ぶ場合には、必ず大人が付き添うようにしてください。

また、遊具の故障、不具合などを見つけたらすぐに都市計画課へご連絡ください。

危険な滑り方をさせない

前の人が滑り終わってから滑らせる

下から登らせない

降口で遊ばせない

梁にぶら下がらせない

飛び降りさせない

こいでいるそばに行かせない